

寒冷地における耕作放棄地の草地化とミニ放牧技術の開発

ミニ放牧 イメージ図



研究内容

耕作放棄地の草地化技術の開発

小型GPS, 草種配置
フェストロリウム
放棄水田・桑園

狭小分散草地の有効放牧 利用技術の開発

ストレスフリー,
リレー放牧, ASP
離乳子牛の放牧育成

現地実証

目標

- | 繁殖牛放牧 | | 子牛育成 | |
|-----------|------------|----------------|----------------|
| 1ha2.5頭以上 | 1. 親子放牧 | 雄子牛: 5か月齢150kg | 雌子牛: 5か月齢130kg |
| 180日以上 | 2. 雌離乳子牛放牧 | 10か月齢240kg | |

期待される波及効果

東北の複雑、狭小面積の耕作放棄地の草地化が簡易にでき、耕作放棄地においても高度な畜産を実現するミニ放牧技術が普及する。これにより急増する耕作放棄地対策、飼料自給率向上、地域社会の活性化および家畜福祉に貢献する。